

## 『市民社会と国連』

(国連研究第6号)

## 目 次

序文 .....	星野俊也	3
<b>I 特集論文</b> .....		9
1 地球市民社会の黎明と国連の将来	功刀達朗	11
2 国連グローバル・コンパクト	笠原重久	35
——この官・民パートナーシップの意義に関する一考察		
3 世銀とNGO	段 家誠	71
——インスペクション・パネル制度と課題		
<b>II 現場の眼</b> .....		105
4 紛争後の人間安全保障に資する国連平和構築活動の役割		
	長谷川祐弘	107
5 国連機関の調整の問題	池上清子	147
——特にUNDGとエイズ分野をめぐって		
<b>III 研究ノート</b> .....		169
6 国連PKOの参加国・要員提供数から見る変遷	田辺 亮	171
——ポスト冷戦期を中心に		
7 武力紛争解決における地域的機関と国連の関係	雨野 統	195
——ECOWAS「軍事監視団」に対する安全保障理事会の統制を中心として		
8 国連とトランスペアレンシー・インターナショナル	蓮生郁代	215
——腐敗防止のグローバルな「法化 (legalization)」に向けて		

IV	書評・紹介 .....	243
1	国連と市民社会の関係に関する有識者パネル報告 『われら人民——市民社会、国連、およびグローバル・ガバナンス』 北村 治	245
2	安藤仁介・中村道・位田隆一編『21世紀の国際機構：課題と展望』 佐藤哲夫	249
3	田所昌幸・城山英明編『国際機構と日本——活動分析と評価——』 阿曾村智子	257
4	臼井久和・馬橋憲男（編）『新しい国連——冷戦から21世紀へ』 軽部恵子	262
5	ジーン・E・クラスノー編『国連：グローバル社会の課題』 佐渡紀子	267
V	日本国際連合学会から .....	273
1	2004年度（第6回）研究大会の概要 山本慎一	275
2	規約と役員名簿	283
3	編集後記	289
VI	英文要約 .....	289
	執筆者紹介	310